

No. 1527

天皇御在位60年記念式典

— 国 技 館 —

政府主催による「天皇御在位60年記念式典」が4月29日東京・国技館に天皇陛下をお迎えして行なわれました。中曽根首相は式辞の中で「日本国の象徴として陛下と国民をむすぶ敬愛と伝統はいよいよ固くなっています」とのべました。各界代表の祝辞のあと天皇陛下も「昭和の60年の歳月を顧み、先の戦争による国民の犠牲を思うとき、なお胸が痛み、改めて平和の尊さを痛感します」とおことばをのべられました。ますますお元気な天皇陛下です。

問われる先進国の役割

— 東 京 サ ミ ッ ト —

第12回先進国首脳会議（東京サミット）が5月4日から6日まで東京の迎賓館を中心に行なわれました。英国サッチャー首相、フランスミッテラン大統領、アメリカレーガン大統領など7ヶ国及び欧州共同体（EC）の首脳が集まりました。夜の首相官邸のパーティでは久しぶりに会う顔ぶれに握手の連続です。翌日から始まった個別首脳会談、全体会議では開幕直前に米・リビア危機とテロ対策、ソ連の原子力発電所事故という重大問題が発生、さらに円高防止への協力要請など緊迫した空気の中で会議はつづけられました。最終日に議長国の中曽根首相が共同記者会見で議長総括を発表。「経済サミット」としてスタートした首脳会議も政治色が次第に強くなっているとはいえ世界の通貨安定のための先進七ヶ国蔵相会議（G7）設置を決めるなど新時代を切り開く枠組みを作ったことは歴史に残るサミットと云えるでしょう。